



# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場会社名 安田倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9324 URL <http://www.yasuda-soko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 憲史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 藤原 和雄

TEL 03-3452-7311

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	25,815	1.7	1,955	6.7	1,898	11.3	1,130	80.4
23年3月期第3四半期	25,373	3.9	1,833	△8.9	1,705	△7.1	626	△41.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,290百万円 (41.9%) 23年3月期第3四半期 1,614百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	37.25	—
23年3月期第3四半期	20.65	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	76,181	37,093	48.5
23年3月期	76,271	35,228	46.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 36,920百万円 23年3月期 35,064百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年3月期	—	7.00	—		
24年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,200	1.7	2,400	3.5	2,300	3.5	1,250	30.5	41.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	30,360,000 株	23年3月期	30,360,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	11,856 株	23年3月期	11,851 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	30,348,146 株	23年3月期3Q	30,348,156 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の落ち込みから緩やかに持ち直しの動きが見られました。しかしながら、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、欧州の財政不安による株価の低迷や急速な円高の進行など景気の下振れリスクが生じるとともに、デフレの影響および雇用情勢の悪化懸念などから、景気動向は依然として不透明な状況で推移しました。

倉庫物流業界では入庫高は安定せず保管残高も概ね前年同期を下回る水準が続き、また不動産業界ではオフィス空室率の改善が進まないなど、業界を取り巻く事業環境も厳しい状態で推移しました。

このような環境の中で当社グループは、物流事業ではお客様の物流アウトソーシングニーズを積極的に開拓する営業を展開し収益増加に努め、不動産事業では既存施設の稼働率維持・向上に努めました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業収益は前年同期比442百万円増（1.7%増）の25,815百万円、営業利益は前年同期比121百万円増（6.7%増）の1,955百万円と増収増益になりました。これは、以下のセグメントの業績に記載の通り、不動産事業が前年同期比で減収減益となったものの、物流事業が前年同期比で増収増益となった結果であります。また、経常利益は前年同期比193百万円増（11.3%増）の1,898百万円、四半期純利益は特別損失が減少したことにより、前年同期比503百万円増（80.4%増）の1,130百万円と増益になりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

物流事業では、輸出入取扱の増加や倉庫における荷動きが全般的に好調に推移し、また期の後半には倉庫施設を拡張したことにより、国際貨物取扱料や倉庫作業料、保管料を中心に増収増益となりました。その結果、物流事業の営業収益は前年同期比570百万円増（2.7%増）の21,908百万円、セグメント利益は前年同期比160百万円増（9.5%増）の1,862百万円となりました。

不動産事業では、期の後半には一部施設で稼働率改善の兆しが見えつつも、賃料水準の低下などにより賃貸料収益が減少しました。その結果、不動産事業の営業収益は前年同期比166百万円減（3.8%減）の4,207百万円、セグメント利益は前年同期比85百万円減（5.3%減）の1,514百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、時価評価増による投資有価証券の増加がありましたが、投資額を上回る減価償却により有形・無形固定資産が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ90百万円減の76,181百万円となりました。

負債については、主に長期借入金の減少により前連結会計年度末に比べ1,955百万円減の39,088百万円となりました。

純資産については、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末に比べ1,864百万円増の37,093百万円となりました。以上の結果により自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.5ポイント増の48.5%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ54百万円増の2,882百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の資金留保等により2,460百万円の資金増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得により325百万円の資金支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の減少により2,080百万円の資金支出となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社グループ業績は、概ね期首予想（平成23年5月11日発表の予想数値）に沿って推移しております。従って、連結業績予想については変更していません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,847	2,902
受取手形及び営業未収金	4,189	4,613
繰延税金資産	320	187
その他	290	327
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	7,644	8,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,513	29,269
機械装置及び運搬具（純額）	560	455
工具、器具及び備品（純額）	557	495
土地	20,029	20,067
建設仮勘定	6	75
有形固定資産合計	51,667	50,363
無形固定資産		
借地権	737	737
その他	493	336
無形固定資産合計	1,231	1,074
投資その他の資産		
投資有価証券	13,725	14,712
繰延税金資産	530	521
その他	1,495	1,504
貸倒引当金	△21	△22
投資その他の資産合計	15,728	16,716
固定資産合計	68,627	68,154
資産合計	76,271	76,181
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	1,942	2,072
短期借入金	4,470	4,920
1年内返済予定の長期借入金	7,235	7,068
未払法人税等	416	259
未払費用	761	561
その他	901	922
流動負債合計	15,727	15,803
固定負債		
長期借入金	15,040	13,107
繰延税金負債	4,190	4,126

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
退職給付引当金	1,578	1,599
長期預り敷金保証金	3,934	3,917
その他	572	533
固定負債合計	25,316	23,284
負債合計	41,043	39,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,602	3,602
資本剰余金	2,790	2,790
利益剰余金	22,781	23,487
自己株式	△5	△5
株主資本合計	29,168	29,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,918	7,069
為替換算調整勘定	△21	△24
その他の包括利益累計額合計	5,896	7,045
少数株主持分	163	173
純資産合計	35,228	37,093
負債純資産合計	76,271	76,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業収益		
保管料	4,200	4,312
倉庫作業料	4,061	4,335
陸運料	6,257	6,261
国際貨物取扱料	4,319	4,614
物流賃貸料	1,157	1,172
不動産賃貸料	3,418	3,288
その他	1,956	1,831
営業収益	25,373	25,815
営業原価		
作業費	10,736	11,065
人件費	4,110	4,202
賃借料	1,226	1,288
租税公課	647	650
減価償却費	1,739	1,635
その他	3,081	3,052
営業原価	21,541	21,894
営業総利益	3,831	3,920
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	991	982
福利厚生費	123	123
退職給付費用	34	36
減価償却費	227	222
支払手数料	257	246
租税公課	39	40
その他	324	313
販売費及び一般管理費合計	1,998	1,965
営業利益	1,833	1,955
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	130	190
雑収入	40	27
営業外収益合計	171	218
営業外費用		
支払利息	296	273
雑支出	3	2
営業外費用合計	299	275
経常利益	1,705	1,898



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	3	3
投資有価証券売却益	—	4
特別利益合計	3	8
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産廃棄損	44	25
投資有価証券評価損	281	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	98	—
特別損失合計	424	25
税金等調整前四半期純利益	1,284	1,881
法人税、住民税及び事業税	499	629
法人税等調整額	139	111
法人税等合計	638	740
少数株主損益調整前四半期純利益	645	1,141
少数株主利益	19	11
四半期純利益	626	1,130

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	645	1,141
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	978	1,151
為替換算調整勘定	△9	△2
その他の包括利益合計	968	1,149
四半期包括利益	1,614	2,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,597	2,280
少数株主に係る四半期包括利益	17	10

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,284	1,881
減価償却費	1,967	1,858
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△32	0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△34	21
受取利息及び受取配当金	△131	△190
支払利息	296	273
固定資産売却損益 (△は益)	△3	△3
固定資産廃棄損	44	25
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△4
投資有価証券評価損益 (△は益)	281	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△421	△424
仕入債務の増減額 (△は減少)	238	133
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△266	△17
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	98	—
その他	△81	△233
小計	3,240	3,318
利息及び配当金の受取額	131	190
利息の支払額	△292	△269
法人税等の支払額	△888	△779
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,190	2,460
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△488	△361
有形固定資産の売却による収入	11	4
無形固定資産の取得による支出	△73	△105
投資有価証券の取得による支出	△500	△0
投資有価証券の売却による収入	—	136
その他	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,051	△325
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,020	2,330
短期借入金の返済による支出	△1,640	△1,880
長期借入れによる収入	4,200	3,500
長期借入金の返済による支出	△5,397	△5,600
配当金の支払額	△425	△424
その他	△5	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,247	△2,080
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△114	54
現金及び現金同等物の期首残高	2,659	2,827
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,544	2,882

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）  
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	物流事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	21,328	4,045	25,373	—	25,373
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	10	328	338	△338	—
計	21,338	4,373	25,711	△338	25,373
セグメント利益	1,701	1,599	3,301	△1,468	1,833

(注) 1. セグメント利益の調整額は以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間(百万円)
セグメント間取引消去	△26
全社費用※	△1,441
合計	△1,468

※全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）  
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	物流事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	21,895	3,919	25,815	—	25,815
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	12	287	300	△300	—
計	21,908	4,207	26,115	△300	25,815
セグメント利益	1,862	1,514	3,376	△1,421	1,955

(注) 1. セグメント利益の調整額は以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間(百万円)
セグメント間取引消去	△16
全社費用※	△1,405
合計	△1,421

※全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。